

■平成30年7月24日開催 特別史跡名古屋城跡バリアフリー説明会に関する主なご質問・ご感想に対する回答

NO	主なご質問・ご感想	回答
1	具体的に設備が出来たら、その都度体験会を開くことが良いと思う。	バリアフリー新技術等については、体験会を含めて、障害者団体等の皆様の理解を得られるよう、適切な説明を行ってまいります。
2	(4社の説明を聞いて、)城に導入することは無理だと思う。あるいは、人が入れない天守閣にしてはどうか。	木造復元された天守閣については、外観を観覧するとともに、史実に忠実に復元される内観についても観覧することで、特別史跡名古屋城跡の価値をご理解いただきたいと思います。また、昇降に関する新技術については、今後国際コンペ等を含め、障害者団体等当事者の皆様のご意見をいただきながら、天守閣竣工までに開発等を行ってまいります。
3	新技術の説明会と言っても、特に名古屋城木造天守のための技術が説明されたとはいえなかった。この説明会をもって「皆さんに理解いただいた」としないでほしい。	今回の説明会は、各企業が有する現在の技術について紹介し、現状の技術をご理解いただく趣旨で開催いたしました。従いまして、今回の説明会をもって「名古屋城木造天守閣の昇降方法として導入する技術について障害者団体等の皆様にご理解いただいた」、「新技術の開発が進んでいることを示した」とは考えておりません。また、昇降に関する新技術については、今後国際コンペ等を含め、障害者団体等当事者の皆様のご意見をいただきながら、天守閣竣工までに開発等を行ってまいります。
4	エレベーターに代わる「新技術」としては疑問符がいくつも付くものばかりと感じた。4年後に実現できるのか。誰もが同じように利用できるのかますます疑念が深まるばかり。「新技術」ありきではなく、エレベーター設置をもう一度考えてほしい。	
5	プレゼンの中身が現実的ではない。10年経っても技術開発は進んでいないし、これから5年後に実現するとは思えない。このような説明会がアリバイ作りとなって、新技術開発が進んでいると社会が思ってしまうことが非常に怖い。	
6	名古屋市から声をかけた企業によるアイデア出し会等は検討しているか。障害者団体の方などのニーズ・要件について部分的かもしれないが理解できたことはよかった。ここを明確にしないと検討が進まない。提示された7つの基準(※)がそれだと思うが、案についての検討と対応が必要。 ※ 「「バリアフリーは今より良くなる!!?」を実現するために必要な7つの基準」については、配付資料PDFをご参照ください。	木造復元天守閣の昇降に係る新技術について、これまで具体的に障害者団体の皆様にご説明できておりませんでした。そのため、まず第一歩として各企業が有する現在の技術について皆様に知っていただきたいという趣旨で今回の説明会を開催いたしました。現在の技術だけでは皆様にご理解いただくことは困難である為、今後天守閣竣工までに、当事者の皆様のご意見をしっかりと聞きながら昇降に関する新技術を研究開発していくため、障害者団体や企業等による協議会などを開催してまいります。

NO	主なご質問・ご感想	回答
7	<p>バリアフリー技術を熱意をもって開発してくださろうとする企業あることは、とても心強く感じた。</p> <p>しかし、名古屋城のバリアフリーに用いる技術としてはエレベーターの代替となるものではない。なのでこの説明会では、エレベーターと比較した際の、各社の技術の欠点を指摘する結果となった。エレベーターが、階段を昇ることが出来ない人たちにとって一番の支援であると(本団体は)主張しているところであるが、開発企業の熱意を削ぎたいとは考えておらず、これらの技術が別の形で生かされることを望む。従って、障害者団体と企業を対立させるような会議の企画の仕方に疑問を呈さざるを得ない。</p>	<p>木造復元天守閣の昇降に係る新技術について、これまで具体的に障害者団体の皆様にご説明できておりませんでした。そのため、まず第一歩として各企業が有する現在の技術について皆様に知っていただきたいという趣旨で今回の説明会を開催いたしました。現在の技術だけでは皆様にご理解をいただくことは困難である為、今後天守閣竣工までに、当事者の皆様のご意見をしっかりと聞きながら昇降に関する新技術を研究開発していくため、障害者団体や企業等による協議会などを開催してまいりたいと考えております。</p>
8	<p>4社の説明を聞いたが、実現性に乏しいという印象。安心して乗れるものはやはりエレベーターだと考えてしまう。車いす利用者以外には難病患者にも階段利用に苦痛を感じる人がたくさんいる。天守の復元には大いに期待するが、見学に行くにはやはり最上階まで登りたいと誰でも思うこと。姫路城改修工事の時は、車いす利用者も工事現場を見学することが出来た。なんのためらいもなく名古屋城には行けると言えるようにしてほしい。</p>	<p>今回の説明会は、各企業が有する現在の技術について紹介し、現状の技術をご理解いただく趣旨で開催いたしました。昇降に関する新技術については、今後国際コンペ等を含め、障害者団体等当事者の皆様のご意見をいただきながら、天守閣竣工までに開発等を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、木造天守閣の建設工事の際には、姫路城天守閣と同様、素屋根と呼ばれる覆いを設けますが、素屋根についてはエレベーターを設置し、車いすの方にも工事現場をご覧いただけるようにすることとしております。</p>
9	<p>企業の中で新しい技術と言えるものはなかった。2足歩行ロボットは10年前であるし、駕籠は観光振興としてはユニークかもしれないが、天守閣に登るという観点では評価できない。パワースーツで階段は上がれないため評価に値しない。階段昇降機については、危険性及び使い勝手が良くないことについては、かねてから指摘している通り。(※)</p> <p>また、障害者にとって普段使い慣れていない物を利用することは、不安が伴うし、使用後の日常生活に支障を来す可能性が高い。</p> <p>よって、誰もが利用でき、誰もが天守閣に登れて、他の方の移動を妨げず、スピーディーに異動が可能な手段はエレベーター以外にないと思う。</p>	<p>今回の説明会は、各企業が有する現在の技術について紹介し、現状の技術環境をご理解いただく趣旨で開催いたしました。昇降に関する新技術については、今後国際コンペ等を含め、障害者団体等当事者の皆様のご意見をいただきながら、天守閣竣工までに開発等を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>(※)階段昇降機については、レールを使わずキャタピラで進む無軌道式のタイプと、階段に設置したレールに沿って昇降するタイプの2種類があり、株式会社スギヤス様の提案については、レールタイプの階段昇降機です。株式会社スギヤス様の取り扱われている商品においては、過去に事故は起きていないことを連絡いただいております。</p>
10	<p>4社の提案を見たが「EVの代替設備を示すものは全くない」という感想。一番の気がかりは6月19日に、前日(18日)の大阪北部地震で多くのエレベーターが止まったことを受けて、河村市長が「エレベーターは危ないことが分かった」との発言。2足歩行ロボットやかごについて、自身が移動中に起きたときには「転倒する」が企業側の回答だったと思う。</p> <p>バリアフリー設備は民間提案であっても設置主体は名古屋市だ。エレベーターと同等以上の安全性が絶対条件だが、名古屋市としては「安全」は絶対条件だと考えているのか。</p> <p>実証実験用の階段をつくるのなら震度6程度の揺れを想定(実験)できる装置をつけた階段にして欲しい。</p>	<p>今回の説明会は、各企業が有する現在の技術について紹介し、現状の技術環境をご理解いただく趣旨で開催いたしました。昇降に関する新技術については、今後国際コンペ等を含め、障害者団体等当事者の皆様のご意見をいただきながら、天守閣竣工までに開発等を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>昇降技術の安全性については、欠かせないものだと考えておりますので、安全という観点においても開発及び実験を進めてまいりたいと考えております。</p>

NO	主なご質問・ご感想	回答
11	<p>4社から丁寧な説明を頂いたことは感謝する。しかし、説明時間の半分以上は各社の技術紹介と言う内容で、説明を期待していた天守閣のエレベーターに代わる技術については、説明時間も少なく内容的にも「今ある技術を応用・発展させる可能性・挑戦」についての説明だった。今後の見通しについての質問には「皆さんの意見も聞きながら」と付け加えて回答されていた。現時点で当事者意見の聴取もされていないことは明らかだ。</p> <p>車いすからの移乗が前提の考え方になっているのも問題だ。「発注いただければ具体的に進める」との説明もあったが、今回の説明内容では、とても発注とまでは考えられない。また、当該設備使用時における、他者の移動への影響についての説明もなかった。</p> <p>こうした説明会が継続されるのであれば、「史実に忠実な木造の名古屋城におけるエレベーターに代わる技術」について具体的な説明がほしい。現時点ではエレベーター抜きでバリアフリーとは言えないのではないか。</p>	<p>木造復元天守閣の昇降に係る新技術について、これまで具体的に障害者団体の皆様にご説明できておりませんでした。そのため、まず第一歩として各企業が有する現在の技術について皆様に知っていただきたいという趣旨で今回の説明会を開催いたしました。現在の技術だけでは皆様にご理解をいただくことは困難である為、今後天守閣竣工までに、当事者の皆様のご意見をしっかりと聞きながら昇降に関する新技術を研究開発していくため、障害者団体や企業等による協議会などを開催してまいりたいと考えております。</p>
12	<p>天守閣木造復元を目指すというのであれば、階段昇降機を設置してもよいのか。</p>	<p>木造天守閣については、昭和実測図等に基づき、史実に忠実な復元を行うこととしており、梁や柱を切ったり、大きく欠損させず、取外しが可能な機能を設置することにより、木造天守閣の昇降を実現していきたいと考えております。</p>
13	<p>普段使用している車いすで天守閣を昇降するという要望に対して、企業のプレゼンは乗り換えが必要な「カゴ」や「昇降ロボット」が多く一致していないと感じた。参加企業で「協議会」等をつくり、企業での対応方針を検討した後、団体を含めて検討する方が良いと思う。</p>	<p>今後天守閣竣工までに、当事者の皆様のご意見をしっかりと聞きながら昇降に関する新技術を研究開発していくため、障害者団体や企業等による協議会などを開催してまいりたいと考えております。また、新技術開発については、今後国際コンペ等を含め、障害者団体等当事者の皆様のご意見をいただきながら、天守閣竣工までに行ってまいりたいと考えております。</p>
14	<p>歴史や文化はとても大切にしたいが、人があってこそではないか。情理を尽くして議論を重ねたい。</p>	
15	<p>傍聴席からの発言は禁止のはずではなかったのか。運営側の認識が足りていない。傍聴席ではなくて参加者として座ってもらえばよかった。</p> <p>提案のレベルが低いと言わざるを得ない。今回の提案者をどのように選別されたのか、心配。今後もアイデアを募集していくと思うが、市側が基本として具備する条件を明確にして示さないと無駄な労力を使うことになるのではないか。4年間のマスタースケジュールを明確にして示してほしい。改めて、エレベーター設置とすることもあるのではないか。新たな階段を設置することは「史実に忠実」からかなり逸脱する。この際白紙に戻して再検討してはどうか。</p>	<p>説明会開催にあたっての企画・進行方法につきましては、いただいたご意見を踏まえ、改善してまいりたいと考えております。</p> <p>今回の説明者については、各企業にヒアリングを行い、現段階で自社の技術紹介を行うことが可能とした企業を選ばせていただきました。昇降に関する新技術については、今後国際コンペ等を含め、障害者団体等当事者の皆様のご意見をいただきながら、天守閣竣工までに開発等を行ってまいりたいと考えております。</p>